

レジリエント部門

応募事例名

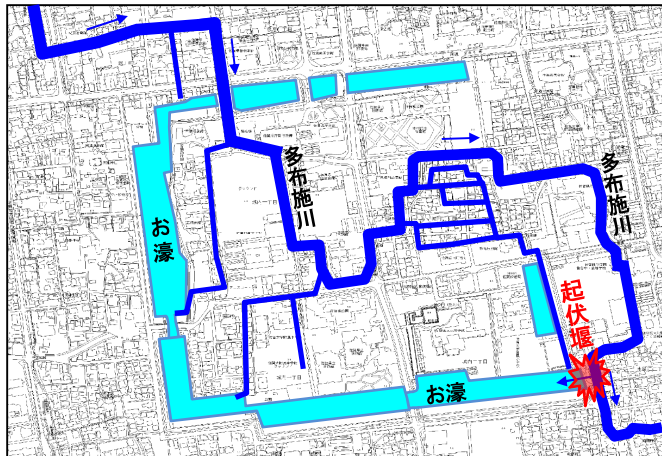
浸水に強いまちづくり・人づくり

応募団体名) 佐賀市

応募事例の概要

◆既存施設の有効活用

“お濠を調整池として活用”



お濠のストックで3.4万㎡の貯留容量を創出!!
平成28年6月には地域の浸水時間を2時間軽減!!

◆市民と連携した浸水対策

“浸水標尺による浸水状況の把握と
市民の意識向上”



“35年以上続く河川清掃”



佐賀市では、平成26年に策定した佐賀市排水対策基本計画に基づき、既存施設の有効活用、河川・水路整備や市民の浸水に対する意識の向上を図り、“**浸水に強いまちづくり・人づくり**”に取り組んでいます。

平成28年には、佐賀城のお濠と隣接する河川との接点に起伏堰を設置しました。大雨時に堰を起立させ、河川からの流入を制御することで、**お濠を調整池として活用**しています。これにより、3.4万㎡の貯留容量を創出しました。ソフト対策として、市内に77基の浸水標尺を設置しました。浸水時に標尺の浸水深を計測することで、地域の浸水状況の把握が可能となりました。標尺の読み取り作業は、市民やボランティア団体が行っており、これにより**市民の浸水に対する意識の向上**に繋がっています。また、年間で延べ約10万人が参加する**市民主体の河川清掃活動**を支援し、河川環境の維持、排水能力の向上を図っています。